

教科名 科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語	2	1年次 情報ビジネス科 システム工学科	必修	新編言語文化 東京書籍	新常用漢字必携パーフェクトクリア改訂版 尚文出版
言語文化					

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ・論理的思考力や想像力を養うとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句に触れ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえ、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れている物の見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に積極的に親しみ、文章や詩歌の面白さを互いに伝え合おうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を、これまでの学習を活かして粘り強く読み取ろうとしている。
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>定期考査における基本問題や小テストで評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」</p> <p>定期考査における発展問題や授業内での発表や文書による制作物の内容を評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>学習した内容に沿って作成した制作物への取り組み状況や授業への取り組み態度によって評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>「さくらさくらさくら」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 「花」といえば「桜」? ・現代の言語文化に息づいている古典の常識について興味を持つ。 「『美しい』ということ」 ・筆者の経験と分析について理解し、「美しい」ということについて考える。 <p>古文に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。 「児のそら寝」 ・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 「絵仏師良秀」 ・文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。
2 学期	<p>訓読の基本、漢字の読みと意味—漢和辞典を活用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について理解する。 <p>漢字の読みと意味—漢和辞典を活用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。 <p>「羅生門」、元になった古典作品と読み比べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ・古典を元にして作られた作品と、元の作品を読み比べ、理解を深める。 <p>「枕草子」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
3 学期	<p>歌詞の意味や表現技法について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃耳にする歌謡曲の歌詞にも見られる表現技法について知り、散文への理解を深める。 <p>折々のうた、和歌を自分の言葉で書き換える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 ・和歌を書き換えることを通して、解釈を深める。 <p>短歌を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--